

# ブックレビュー 9月号

大分県立大分上野丘高等学校 図書館

大分県大分市上野丘2-10-1

2017年9月11日発行 担当：坂井君子（司書）



## 中秋の名月によせて

「中秋の名月」とは、秋の真ん中に出る満月を意味します。また、旧暦の8月15日の夜と言う意味もあります。

現代では、9月7日から10月8日の間に訪れる満月の夜が「十五夜」「中秋の名月」となり、今年には10月4日（水）がそれにあたります。

## 月の物語

日本の天文学の礎となった麻田剛立

『月に名前を残した男 江戸の天文学者 麻田剛立』 鹿毛 敏夫著 角川ソフィア文庫

月のクレーターに「アサダ」と名を残す麻田剛立は、杵築に生まれる。幼少期から天体観測をはじめた少年は、江戸後期、幕府の暦にない日食を予測した。大阪に日本初の天文塾を開き、日本の天文学の礎となった。ちなみに著者は大分市出身。

### おとぎ話

『かぐや姫の物語 徳間アニメ絵本』

高畑 勲原案 徳間書店

日本で一番古いおとぎ話「竹取物語」を、アニメーション映画に基づき新しい視点で描く。

なぜ、かぐや姫は地球にやってきたのか？月になぜ帰らなければならないのか？

### 【関連図書】

『マンガ古典文学 竹取物語』

池田 理代子著 小学館

『竹取物語』

日本古典文学体系 ほか 11冊

### 月探査

『世界はなぜ月をめざすのか』

佐伯 和人著 講談社ブルーバックス

世界では、月の探査・開発が水面下で競争が始まっている。これに後れを取っている日本は、どうするのか。「かぐや」2計画に携わる著者の提言。今年アメリカは、月の無人探査を行う。

『月のかぐや Kaguya on The Moon』

JAXA 著 新潮社



2009年6月使命を果たして落下した月周回衛星「かぐや」が撮影した写真集。

「かぐや」は日本語愛称で、正式なプロジェクト名は、「SELENE」だそう。

## 月の本

### 月

『月からのシグナル』

辺見 じゅん著 文春文庫

人間の出産や死亡は、月の満ち欠けと関係があるのか。月をめぐることわざや伝承は迷信なのか。天体の運行が人間に与える不思議な影響について考える。

『月の本』 林 完二著 角川書店

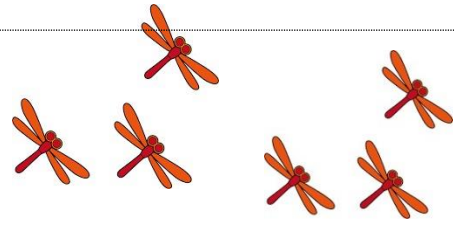
月のさまざまな姿を小説と歌、写真と絵画から収録。

# どの本読もうかな 7月の新着図書案内

7月の新着図書です。56冊入った一部を紹介しします。

- ★文芸**
- \*かがみの孤城 辻村 深月著 ポプラ社
  - \*会津執権の栄誉  
佐藤 巖太郎著 文藝春秋社
  - \*BUTTER 柚木 麻子著 新潮社
  - \*西川麻子は地球儀を回す。  
青柳 碧人著 文春文庫

- ★ 第63回青少年読書感想文 全国コンクール課題図書**
- \*犬が来る病院  
大塚 敦子著 KADOKAWA

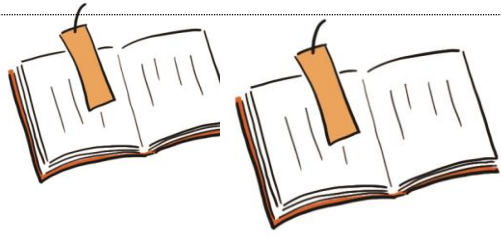


- ★岩波科学ライブラリー 岩波書店**
- \*歌うカタツムリ 千葉 聡著 (484)
- ★岩波ジュニア新書 岩波書店**
- \*読みたい心に火をつける  
木下 通子著 (017)
- ★岩波新書 岩波書店**
- \*矢内原忠雄 赤江 達也著 (289)
  - \*在日米軍 梅林 宏道著 (395)
  - \*夏目漱石と西田幾太郎  
小林 敏明著 (910)
  - \*親権と子ども 榊原 富士子著 (324)

- ★芸術・スポーツ (7類)**
- \*西洋美術の歴史 8 20世紀  
中央公論新社
  - \*デザイン入門教室 Design & IDEA  
坂本 伸二著 SBクリエイティブ
  - \*The Pen 池田 学著 青幻社
  - \*チャイコフスキー 作曲家・人と作品  
伊藤 恵子著 音楽之友社
  - \*剣道基本と戦術  
井島 章著 実業之日本社

この他にもいろいろなジャンルの本が入りました。図書館に入ってすぐの「新しい本」コーナーに展示しています。

- ★ブルーボックス 講談社**
- \*カラー図解古生物たちのふじぎな世界  
土屋 健著 (457)
  - \*時空のからくり 山田 克哉著 (421)
  - \*「香り」の科学 平山 令明著 (491)



**今月のイチ押し**

『つまんないつまんない』  
ヨシタケ シンスケ著 白泉社

ユニークな発想の作品を数多く発表しているヨシタケさん。今回は、退屈な気分をトコトン考え抜いたらこうなった。ダンゴムシもつまんないとおもうのかなあ・・・。